

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	皆見 隆明	電話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9006	事務事業名称	賦課徴収事業				短縮コード	経常	臨時	9006		
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計	款	01	総務費	項	02	徴収費	目	01	賦課徴収費
区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	地方自治法203条								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
昭和13年4月の国民健康保険法が交付され、同年7月1日から施行されたことにより開始。国民健康保険料（税）の賦課及び徴収を行う。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
当初は、本来自営業者等を対象として始まった保険であったが、近年は景気の悪化などにより、会社を解雇されたり、定年退職を迎えたりなど、被用者保険からの切り替えを行う者が多くなっている。また、年金所得者や低所得者などの加入割合も増加しており、被保険者数・医療費の伸び率に比べて、保険料調定額の増加の伸び率が少なくなっている。					大項目（節）	03	社会保障					
					中項目	01	国民健康保険					
					小項目（施策）	01	財政運営の健全化					
					細項目	03	賦課方式の改善					
						04	収納率の向上					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 (誰を何を対象にしているのか)	国民健康保険被保険者						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成22年度に実際に行ったこと： 現・過年に関する国保資格の取込、国民健康保険料の賦課計算、納通の発送、収入の消し込み、口座振替の促進、保険料特徴対象世帯に対する照会・保険料特徴、未納者に対する催告・納付相談、収納員による戸別訪問 国民健康保険料の賦課及び徴収 平成20年4月から65歳から74歳の高齢者世帯を対象に特別徴収（年金天引）を実施 ※平成23年度に計画していること： 平成22年度と同様取り組む 国民健康保険料の賦課及び徴収、未納者に対する催告・納付相談の実施（休日実施日の増加）						
意図 (何を狙っているのか)	国民健康保険被保険者が受診した医療費等を賄うための主要財源として、また、介護保険の第2号被保険者の介護納付金及び平成20年度から始まった長寿(後期高齢者)医療制度への支援金として保険料の賦課及び徴収を行う。賦課した保険料が、未納とならないように収納されること。						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分	指標	加入世帯数	世帯	21年度	22年度		23年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	加入世帯数	世帯	29,304	29,437	29,595	29,734
	指標2	被保険者数	人	50,981	50,759	51,128	51,152
	指標3						
活動指標	指標1	賦課調定額	円	7,055,942,412	7,172,037,000	6,852,804,964	7,249,902,000
	指標2	収納額	円	4,859,885,619	4,990,504,000	4,629,896,012	4,933,763,000
	指標3						
成果指標	指標1	収納率(現年・過年)	%	69	70	68	68
	指標2	収納率(現年)	%	86	87	86	87
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	9006	事務事業名称	賦課徴収事業		所属名	国保年金課	
	単位	21年度		22年度		23年度	
		実績		計画		計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	11,360		8,341	
		県	千円	16,184		21,050	
		地方債	千円				
		一般財源	千円				
	その他	千円		35,409			33,366
主な事業費の内訳		普通旅費5千円 消耗品費741千円 印刷製本費1,492千円 通信運搬費8,392千円 手数料4,418千円 委託料12,392千円 使用料及び賃借料105千円		普通旅費9千円 消耗品費650千円 印刷製本費2,624千円 通信運搬費11,403千円 手数料5,112千円 委託料15,482千円 使用料及び賃借料129千円		普通旅費8千円 消耗品費369千円 印刷製本費2,103千円 通信運搬費8,534千円 手数料4,404千円 委託料13,847千円 使用料及び賃借料127,168千円	
人件費(B)		千円	102,784	103,212.4	96,014.3	96,014.3	
トータルコスト(A)+(B)		千円	130,328	138,621.4	125,405.3	129,380.3	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価 類型	評価事項	評価区分	理 由			
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結び付いている	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
	<input type="checkbox"/> 達成していない					
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
	<input type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	納付環境の整備として、従前より口座振替の推進、コンビニエンスストアでの納付取扱いを進め、20年度からは、高齢者世帯の年金からの特別徴収を開始し、対象世帯の納付の簡便化を図り、更に21年度から導入した葉書様式の口座振替依頼書を、22年度では賦課世帯に一斉送付して、口座振替手続きを簡便化して利用の促進を図り、未納者の減少、収納率の向上に努めている。 今後においては、携帯電話での操作により納付が可能となる「モバイル・レジ」の検討を進め、納付環境の更なる整備拡大に努める。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
		<input type="checkbox"/> 民間委託等				
⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
	<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し					
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し					
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	2			実施主体 (所管部署)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法					
	<input checked="" type="checkbox"/> ある					来年度以降においては、モバイル・レジの機能に「ヤフークレジット」での取扱いも可能となる予定があり、これを利用するとした場合の手数料等の負担が生じる。
<input type="checkbox"/> ない						

コード	9006	事務事業名称	賦課徴収事業			所属名	国保年金課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			納付環境の整備として、従前より口座振替の推進、コンビニエンスストアでの納付取扱いを進め、20年度からは、高齢者世帯の年金からの特別徴収を開始し、対象世帯の納付の簡便化を図り、更に21年度から導入した葉書様式の口座振替依頼書を、22年度では賦課世帯に一斉送付し、口座振替手続きを簡便化して利用の促進を図り、未納者の減少、収納率の向上に努めている。 今後においては、携帯電話での操作により納付が可能となる「モバイル・レジ」の検討を進め、納付環境の更なる整備拡大に努める。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	納付環境の整備拡大により、納付行為に対する利便性を向上させることで収納率の向上を図る。「モバイル・レジ」の現状の機能における経費は、コンビニ利用と同等であるが、クレジット利用が可能となった場合は、手数料等の経費が増加することが予想される。	
		経 費																											
		削 減	不 変	増 加																									
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																									
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
「保険料が高い」「保険料を下げよ」「滞納者に対する資格証明書の交付をやめよ」など。	

所属長コメント	本年度の収納率は、前年度比較で微増となる見込みであるが、現在の国民健康保険事業は、無職者、低所得者の増加等、制度の根幹的問題と経済・雇用情勢の影響で、収納率の向上が非常に厳しい状況下にある。このため、口座振替納付の推進はもとより、納付環境の整備・拡大に向け、新たな納付方法の検討と、新規未納者への早期折衝化を更に推進する。		
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	収納率の更なる向上を目指し、費用対効果を検証したうえで、新たな納付方法の導入について検討すること。		